

令和3年度出張適応指導教室（柵教室）のご案内（1）

1 適応指導教室の趣旨

出張適応指導教室（柵教室）は、学校や集団生活に対する不安が強く、学校に行きたくても行けなくて悩んでいる子どもたちが、さまざまな活動をとおして元気を取り戻し、社会的に自立することや学校に復帰することを目的に指導・支援しています。

■柵教室は、通室距離等の理由により、当面は適応指導教室スプリングポートまたはユーアイルームへの通室が難しい子どもを対象に、社会的自立や学校復帰することを目的として実施しています。

2 入室対象者

市内在住で、不登校の状態にある、小学4年生から中学3年生までの、次の要件を満たしている児童生徒。

- (1) 児童生徒本人・保護者が入室を希望している。
- (2) 校長が入室を適当であると認めている。
- (3) 教育委員会事務局が入室を適当であると承認している。

3 開室日と開室時間

原則として、各学期の火・金曜日の10時15分～11時45分に開室します。なお、何月に入室しても入室期間はその年度の3月までです。

4 活動内容

- (1) 学習タイム：自習を基本とし、学習習慣の形成や学習意欲を高める指導・支援をします。
- (2) 活動タイム：スタッフや他の通室生とともにコミュニケーション活動を行い、人と関わる力、表現する力を高める指導・支援をします。

<具体例> トランプ・オセロ・イラスト
折り紙・けん玉・読書など

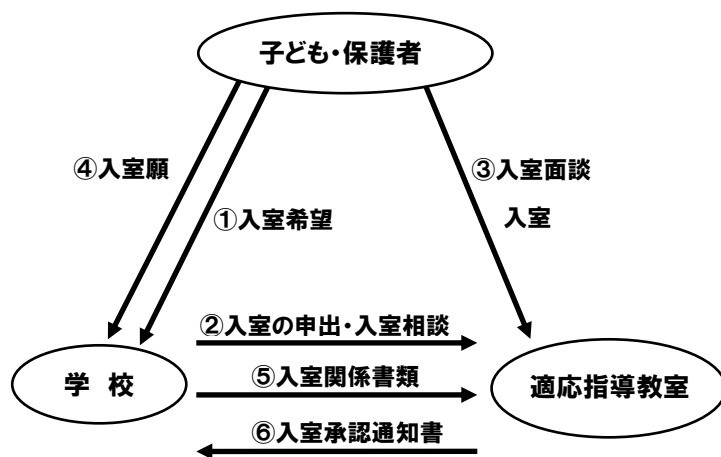
5 連携活動

保護者・学校と、社会的自立や学校復帰に向けた子どもへの関わり方について、共通理解を図ります。

- (1) 保護者との個人懇談会
定期的に、また必要に応じて個人懇談会を行います。
- (2) 学校との連絡会
学校の先生方と定期的に個別の連絡会を行います。また、子どもの通室・登校情報を共有するため、随時相互に情報交換します。

6 入室手続きのながれ

※新規入室希望者は、「①入室希望」の前に見学をしていただきます。



7 出張適応指導教室（柵教室）の場所

■住所：堺市南区桃山台2丁1-2 柵文化会館内

■最寄りの駅

泉北高速鉄道「柵・美木多」（北へ100M）

■連絡先

柵教室の会場には電話がありません。連絡される場合は、下記＜スプリングポート＞までお願いします。

<スプリングポート>

- 電話番号：(072) 232-5053
- FAX番号：(072) 232-5073
- E-mail：tekiou-sp@sakai.ed.jp

<参考> スプリングポートとユーアイルームの場所

<スプリングポート>

- 堺市堺区錦之町西2丁2-34
- 最寄りの駅・バス停
 - 阪堺線 「綾ノ町」（200M）
 - 南海バス 北回り、イオン鉄砲町・住之江公園行「綾の町電停前」（150M）
 - 南海本線 「七道」（650M）

<ユーアイルーム>

- 堺市美原区黒山167-9（美原区役所別館3階）
- 最寄りのバス停
 - 近鉄バス 「美原区役所前」（70M）
 - 南海バス 「船戸下」（500M）
 - 「美原区役所前」（45M）

令和3年度出張適応指導教室（榎教室）のご案内（2）

※榎教室のスタッフは、毎回スプリングポートから出張しています。欠席・遅刻などをするときは、必ず9時15分までにスプリングポートへ連絡してください。

TEL 072-232-5053 FAX 072-232-5073 E-mail tekiou-sp@sakai.ed.jp

持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自習できる学習用具（問題集・教科書・ノート・筆記用具等） ・ お茶、雨具等 ・ 教室内での携帯電話の使用や通室生同士の電話番号及びメールアドレス、SNS等の交換はできません。家族と行き帰りの連絡が必要な場合は、スタッフに申し出てください。
服装 身だしなみ 生活について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学生らしい服装（活動しやすい、派手でない服装）。 ※感染症拡大防止の観点より、マスクは必ず着用してください。 ・ 身だしなみ・・・<u>マニキュア、ピアス等はしないこと。</u> ・ 通室している子どもは、それぞれ事情を抱え、様々な思いや体験をしています。お互いが気持ちよく過ごせるよう、あいさつをしたり、時間を守ったりするなど、まわりの人のことを考えて行動しましょう。
通 室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開室は火・金曜日の10時15分から11時45分までです。 ・ 通室方法・経路については、保護者が安全に十分配慮し、「適応指導教室入室願」「適応指導教室自転車通室経路届」に記入のうえ、学校へ提出してください。 通室方法・経路を変更する時は、すみやかに学校と適応指導教室に連絡してください。 ・ 寄り道をせずに学校に届け出た方法・経路で通室（帰宅）してください。 ・ 小学生は、原則として保護者が付き添って通室してください。
事故への対応	<p>活動中及び通室時の事故については「日本スポーツ振興センター」の加入者は災害共済給付制度の審査対象になり得ます。</p>
費 用	<p>原則無料です。</p>
その他	<p>適応指導教室は、さまざまな活動をとおして「心のエネルギー」を充電し、元気や自信を取り戻すところです。</p>